

授業シラバス

コース名 自転車メカニックコース

科目名	メカニック基礎実習 I		授業のねらい 自転車販売店での接客、運営に必要な知識や技術力を身につけ、即戦力として活躍できる人材を育成する。	
担当教員	藤堂、赤崎、河村			
対象学年	1年			
単位区分	必修			
授業時数	768時間	単位数	23単位	到達目標 自転車販売店で勤務するために必要な業界の知識、技術力を確実に身につける。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝ 河村(自転車店オーナー)			
授業の計画展開	メカニック基礎実習 I-1(サイクル基礎知識)			
	内容	自転車の種類、工具、ネジ、ケミカルなど、自転車整備に必要な知識を習得する。JIS規格に関しても習得する。		
	メカニック基礎実習 I-2(シティサイクル基礎)			
	内容	シティサイクルの規格、分解組立に必要な工具を学ぶ。		
	メカニック基礎実習 I-3(シティサイクルメカニック1)			
	内容	日本国内で90%以上のシェアを誇るシティサイクル(変速ギアなし)の分解、組み立て、調整の技術を講義、実習から学ぶ。		
	メカニック基礎実習 I-4(ホイール組(シティバイク))			
	内容	ホイールを構成する各パーツの種類や役割を理解し、組み立て技術を習得する。		
	メカニック基礎実習 I-5(フィッティング概論)			
	内容	ジオメトリーの読み方、フィッティングの仕方などを学び、乗車体験などを通じてフレームサイズの選定や提案をする技術を習得する。		
	メカニック基礎実習 I-6(スポーツバイクメカニック1(ヘッド&チェーン))			
	内容	スポーツバイクを組む際に調整が必要な箇所である、ヘッドセットやチェーンの調整技術を講義、実習から学ぶ。		
	メカニック基礎実習 I-7(スポーツバイクメカニック2(ブレーキ))			
	内容	スポーツバイクを組む際に調整が必要な箇所である、ブレーキの調整技術を講義、実習から学ぶ。		
	メカニック基礎実習 I-8(スポーツバイクメカニック3(シフト))			
	内容	スポーツバイクを組む際に調整が必要な箇所である、シフトの調整技術を講義、実習から学ぶ。		
	メカニック基礎実習 I-9(シティサイクルメカニック2)			
内容	日本国内で90%以上のシェアを誇るシティサイクル(内装ギア、ベルトドライブ仕様)の分解、組み立て、調整の技術を講義、実習から学ぶ。			
メカニック基礎実習 I-10(素材研究)				
内容	カーボン、アルミ、クロモリ、チタンなど、自転車のフレームやパーツに使われている素材を知り、今後の可能性を模索していく。			
メカニック基礎実習 I-11(スポーツバイク基礎)				
内容	スポーツバイクの規格、分解組立に必要な工具を学ぶ。			
メカニック基礎実習 I-12(ホイール組(スポーツバイク))				
内容	スポーツバイクのホイールを構成する各パーツの種類や役割、組み方を理解し、組み立て技術を習得する。			
メカニック基礎実習 I-13(クロスバイクメカニック)				
内容	クロスバイクの分解、組み立て、調整を実習し、講義を通じて周辺知識を学習する。			
メカニック基礎実習 I-14(ロードバイクメカニック)				
内容	ロードバイクの分解、組み立て、調整を実習し、講義を通じて周辺知識を学習する。			
メカニック基礎実習 I-15(MTBメカニック)				
内容	MTBの分解、組み立て、調整を実習し、講義を通じて周辺知識を学習する。			
メカニック基礎実習 I-16(アッセンブル基礎)				
内容	要望に合わせてパーツやフレームを選定し、正しく提案できる商品知識やデータのまとめ方を学ぶ。			
メカニック基礎実習 I-17(イベントプランニング)				
内容	走行会、サイクリングガイド、大会、ツアーなどを開催するために必要な知識や情報を学び、実際にプランニングができる技術を習得する。			
履修上の注意事項	それぞれの課題毎に習得する知識や情報を活かしながら技術力を身につけることが重要である			
評価方法	実技および筆記試験、日頃の姿勢、出席状況による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	スポーツバイクメカニック教本<ロードバイク編>、スポーツバイクメカニック教本<MTB編>			

授業シラバス

コース名 自転車メカニックコース

科目名	サイクル基礎実習 I			授業のねらい 自転車販売店での接客、運営に必要な知識や提案力を身につけ、即戦力として活躍できる人材を育成する。
担当教員	赤崎、丹波、溝手			
対象学年	1年			
単位区分	必修			
授業時数	224時間	単位数	7単位	到達目標 自転車販売店で勤務するために必要な業界の知識、提案力を身につける。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝ 丹波(グラフィックデザイナー) 溝手(グラフィックデザイナー)			
授業の計画展開	サイクル基礎実習 I-1(ロゴ・グラフィック) 内容 現存する企業のロゴをリサーチ分析しながら、PCソフトを使ったオリジナルのロゴを作成。また、そのロゴを配置したフレームグラフィックの作成。			
	サイクル基礎実習 I-2(グラフィックエディトリアル) 内容 グラフィックソフトを使用し、POP、ショップカード、雑誌広告、カタログ、動画などの販促媒体を作成。			
	サイクル基礎実習 I-3(動画制作基礎) 内容 iPadを用いたプロモーション動画制作技術を習得する。			
	サイクル基礎実習 I-4(デザイン基礎知識) 内容 デザインにおけるブランドとロゴ、色彩学などをなば日、スケッチによる自転車作図を行う。			
	サイクル基礎実習 I-5(自転車環境基礎と提案) 内容 自転車の歴史、規格、ルールを学び、整備を行うための知識を習得する。			
	サイクル基礎実習 I-6(自転車展示会場デザイン) 内容 自転車業界の幅広い知識習得と自転車展示会などの空間デザインの提案を行う。			
	授業の計画展開			
履修上の注意事項	それぞれの課題毎に習得する知識や情報を活かしながら提案力を身につけることが重要である			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性・提案力 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	スポーツバイクメカニック教本<ロードバイク編>、スポーツバイクメカニック教本<MTB編>			

授業シラバス

コース名 自転車メカニックコース

科目名	美術史・情報デザイン概論 I			授業のねらい 近代美術、現代美術、SDGs概論、ビジュアルコミュニケーション概論など時代やジャンルを超えた表現活動について学ぶことで創作活動の幅を広げる。
担当教員	藤堂			
対象学年	1年			
単位区分	必修			
授業時数	16時間	単位数	1単位	到達目標 時代やジャンルを超えた人々の表現活動から、その意図を読み解く思考力を身につける。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	講義			
備考				
授業の計画展開	美術史・情報デザイン概論 I -1(美術史・情報デザイン概論)			
	内容 近代美術、SDGs、トレンドなどの講義から、多角的な視点を養う。			
履修上の注意事項	講義の中で取り扱うジャンルが自身の取り組むものと違っていても創作活動に置き換えて考えることが大事である。			
評価方法	レポートによる総合評価。			
テキスト	学内で作成された課題要項を使用。			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 自転車メカニックコース

科目名	サイクル基礎実習Ⅱ			授業のねらい 自転車販売店での接客、運営に必要な知識や提案力を身につけ、即戦力として活躍できる人材を育成する。
担当教員	赤崎、河村、長谷川			
対象学年	2年			
単位区分	必修			
授業時数	256時間	単位数	8単位	到達目標 自転車販売店で勤務するために必要な業界の知識、提案力を身につける。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝ 河村(自転車店オーナー) 長谷川(中小企業診断士)			
授業の計画展開	サイクル基礎実習Ⅱ-1(自転車設計概論)			
	内容	ロードバイク、MTB、ツーリングバイク、また女性用自転車など、設計の基本を専門講師より学ぶ。		
	サイクル基礎実習Ⅱ-2(プランニング&プレゼンテーション)			
	内容	イベントプランニングやコンセプトショップのプランニングを通じ、企画の基本とプレゼンテーションテクニックを学ぶ。		
	サイクル基礎実習Ⅱ-3(構造と素材)			
	内容	自転車に限らず、物体の構造と素材に関して、講義と実習を通して学ぶ。		
	サイクル基礎実習Ⅱ-4(サイクルジャージデザイン)			
	内容	PCソフトを使用し、オリジナルのサイクルジャージをデザインする。		
	サイクル基礎実習Ⅱ-5(行動観察からの企画提案)			
内容	人間の行動観察をテーマに分析やアイデアへ発展させる方法を学ぶ。			
サイクル基礎実習Ⅱ-6(リサーチからの企画提案)				
内容	商品企画のトレーニングとして、リサーチから問題点を抽出し、企画立案を行う。			
サイクル基礎実習Ⅱ-7(ショッププランニング)				
内容	立地、商材、在庫、資金など、自転車店を継続的に運営していくために必要なものを学ぶ。			
サイクル基礎実習Ⅱ-8(美術史・情報デザイン概論)				
内容	近代美術、SDGs、トレンドなどの講義から、多角的な視点を養う。			
履修上の注意事項	それぞれの課題毎に習得する知識や情報を活かしながら提案力を身につけることが重要である			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性・提案力 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	スポーツバイクメカニック教本<ロードバイク編>、スポーツバイクメカニック教本<MTB編>			

授業シラバス

コース名 自転車メカニックコース

科目名	メカニック基礎実習Ⅱ			授業のねらい 自転車販売店での接客、運営に必要な知識や技術力を身につけ、即戦力として活躍できる人材を育成する。
担当教員	藤堂、赤崎、河村、雨森			
対象学年	2年			
単位区分	必修			
授業時数	736時間	単位数	23単位	到達目標 自転車販売店で勤務するために必要な業界の知識、技術力を確実に身につける。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝ 河村(自転車店オーナー) 雨森(自転車店オーナー)			
授業の計画展開	メカニック基礎実習Ⅱ-1(メカニック技術確認テスト) 内容 1年次で学習した自転車整備知識及び分解組立技術の再確認を行う。 メカニック基礎実習Ⅱ-2(油圧ディスク概論) 内容 スポーツバイクで定番になりつつある油圧ディスクブレーキの構造や知識を学び、整備力を身につける。 メカニック基礎実習Ⅱ-3(パーツチューンナップ) 内容 変速機、ペダル、レバー、ハブなどのパーツを分解組立しオーバーホールしたり、チューブラー、チューブレスなどの特殊タイヤの取り扱いに関して学び、技術を習得する。 メカニック基礎実習Ⅱ-4(安全整備士、技士対策) 内容 自転車安全整備士、自転車技士資格の詳細を学び、筆記試験、実技試験のレギュレーションに合わせた試験問題への取り組みを行い、安全に整備する技術の習得を目指す。 メカニック基礎実習Ⅱ-5(多種自転車整備概論) 内容 自転車店で流通する機会の多い、代表的な車種の特徴、調整方法、周辺知識を学ぶ。 メカニック基礎実習Ⅱ-6(多種自転車整備実習) 内容 自転車店で流通する機会の多い、代表的な車種の特徴、調整方法、周辺知識を学ぶ。 メカニック基礎実習Ⅱ-7(アッセンブルアドバンス) 内容 習得して来た商品知識をつかい、様々なニーズに対して的確に提案できる資料を作成する。 メカニック基礎実習Ⅱ-8(パーツ&アクセサリ概論) 内容 自転車店で流通する機会の多い、代表的なパーツおよびアクセサリの特徴、調整方法、周辺知識を学ぶ。 メカニック基礎実習Ⅱ-9(パーツ&アクセサリ実習) 内容 自転車店で流通する機会の多い、代表的なパーツおよびアクセサリの特徴、調整方法、周辺知識を学ぶ。 メカニック基礎実習Ⅱ-10(Di2概論) 内容 スポーツバイクで定番になりつつあるSHIMANO Di2の構造や知識を学び、整備力を身につける。 メカニック基礎実習Ⅱ-11(スポーツバイクメカニック検定対策) 内容 スポーツバイクメカニック講習専属講師を招き、修了検定合格レベルを目指した講義・実習を実施する。 メカニック基礎実習Ⅱ-12(多種自転車&アクセサリ最終試験) 内容 自転車店で流通する機会の多い、代表的な車種、パーツおよびアクセサリの特徴、調整方法、周辺知識を学ぶ。 メカニック基礎実習Ⅱ-13(卒業テスト) 内容 1年次から学んできた自転車、パーツ設備、工具使用方法の習得度を確認する。			
履修上の注意事項	それぞれの課題毎に習得する知識や情報を活かしながら技術力を身につけることが重要である			
評価方法	実技および筆記試験、日頃の姿勢、出席状況による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	スポーツバイクメカニック教本<ロードバイク編>、スポーツバイクメカニック教本<MTB編>			